

て「工業等立促進補助金」を交付するほか、ソニーの「駐車場整備事業」やキヤノンの工業揚水用の「水源整備事業」を実施します。

観光については、市内の観光名跡や行事をはじめ、新市としてスタートした「仏の里くにさき」を県内外にアピールするための観光パンフレット、イラストマップ、ポスター等を作成するほか、旧4町それぞれのお祭りや各種イベントは地域の飛躍を願い、市民総参加のもと引き続き実施します。

建設関係 道路事業については、旧町からの継続事業を中心とした「市道改良事業」を実施します。また、引き続き県営による「急傾斜地崩壊対策事業」や市単独で行う同事業により危険地域の解消を図っていきます。住宅事業については、賃貸用住宅を新築した建築主に、「賃貸用住宅新築奨励金」を旧町からの引継ぎ事業として交付するとともに、老朽市営住宅の修繕工事を実施するなどの対策を講じます。

消防防災関係 国見出張所の救急自動車の新築並びに車庫の新築を行うほか、119番通報の管内一括受信体制を確立させるための「防災無線不感地帯解消事業」を実施します。

教育関係 平成20年4月の開校、開園に向けた安岐地区の統合小学校、統合幼稚園の建設事業に着手するほか、老朽した武蔵学校給食調理場を国東、武蔵、安岐地区の合同米飯施設としての共同調理場の建替事業にも着手

します。

また、重度の障がいを持った児童が安全に安心して学校生活を送れるように、簡易エレベーターの設置やバリアフリー工事を武蔵東小学校で実施するほか、国東地区の小学校校舎、体育館を対象に耐震診断を実施します。

生涯学習については、「豊かな生涯学習社会の形成と社会教育の推進」「次代を担う青少年の健全育成」「人権尊重社会の確立を目指す人権教育の推

平成18年度主要事業

【総務費】

ケーブルテレビ施設整備事業

約411、000千円

コミュニティセンター建設助成事業

約26、310千円

【民生費】

生活保護費

約463、200千円

知的障がい者施設訓練等支援費

約236、230千円

【衛生費】

し尿処理施設整備事業

約161、270千円

クリーンセンター施設整備事業

約119、570千円

【農業費】

中山間地域等直接支払交付金事業

約105、260千円

森林整備地域活動支援事業

約26、000千円

進」「文化活動の推進」「活力を生み出すスポーツの振興」の5つの重点目標を掲げて、各種施策を展開します。

文化財関係については、「ケバス祭」「修正鬼会」「吉弘楽」「諸田御田植祭」など地域に受け継がれたすばらしい無形文化財の保存団体に対し、引き続き活動を支援するほか、「重要文化財泉福寺仏殿」や「史跡三浦梅園旧宅」の「保存修理事業」を実施します。

漁港再生交付金事業

約29、350千円

【商工観光費】

工業揚水用井戸増設事業

約42、000千円

駐車場整備事業

約16、000千円

【消防費】

救急自動車購入事業

約17、230千円

【教育費】

統合学校施設整備事業

約169、340千円

教育用コンピュータリース事業

約14、200千円

三浦梅園旧宅保存修理事業

約32、480千円

このような状況下、限られた財源のなかで工夫をこらすとともに、庁内経費の節減はもとより、「聖域」を設けることなく、すべての事業について、ゼロから見直す一方、旧4町のこれまでの経緯や経過を尊重しながらも、対話行政の推進による公平・公正な行政を念頭に、市民の皆様の関心も強い「ケーブルテレビ施設整備事業」や「市道改良事業」など必要性・緊急性のある事業や地域間の均衡にも配慮した予算となっております。

また、旧町のお祭りやイベントなどは地域の飛躍を願い、市民総参加のもと引き続き実施します。

一般会計で実施する主な事業では、保健福祉活動の拠点である各地域の保健福祉センターの利用を引き続き促進し、健康予防対策と保健医療の充実を図ります。また、農林水産や商工業などの振興、さらに学校教育の充実、児童生徒の健全育成、快適な生活基盤の整備を図るための予算を計上してまいります。

この一般会計に国民健康保険事業特別会計や老人保健医療事業特別会計など、13の特別会計の予算を加えた予算総額は、390億7千149万7千円となります。